



イベント盛りだくさん
5月26日は閑上へお越しください

特集 閑上地区まちびらき

愛する人を、住み慣れた住まいを、長年かけて築いた地域コミュニティを一瞬で奪ったあの災禍。

8年もの歳月は、亡き人を悼み、安寧を願う祈りと復興まちづくりの槌音が、いくつも交錯しました。

昨年12月、閑上地区の復興公営住宅がすべて完成。住まいの再建が進みました。閑上小中学校の開校(昨年4月)に続き、今年4月には閑上保育所も開所。地域に響く子どもたちの声が明るい未来を感じさせます。

一つ、また一つ。増えゆくまちの灯り。闇を照らす光の束に触れるたび、再びこの場所で暮らしが始まったのだ、という実感がこみ上げます。

5月26日、この場所で開かれる「閑上地区まちびらき」。支援への感謝の思いを伝え、新生閑上のお披露目の場として住民・商工団体・学校・市などで作る実行委員会が準備を続けます。

「まちに命を吹き込むのは住民の私たち。明るい未来を信じ、いままちにしていきたい」

針生勉実行委員長はこう意気込みながら、多くの人に来場を呼びかけます。

「閑上地区まちびらき」が5月26日(日)午前10時から、閑上地区一帯で開かれます。

まちびらきは、支援に感謝の思いを伝え、震災を経て生まれ変わった閑上の姿をお披露目しようとして、地区の住民や商工団体、学校・市などで作る実行委員会が主催します。

閑上公民館前広場をメイン会場に、閑上小中学校、かわまちてらす閑上、震災メモリアル公園、水産加工団地、ゆりあげ港朝市など計9か所を会場に関連イベントを展開。

メイン会場のステージでは、松本伊代さん、早見優さん、城之内早苗さんのミニコンサートや県警音楽隊、地元の出演者などが素敵なショーを繰り広げます。

被災した事業者が集まる水産加工団地では各社の製品や、新鮮な農産物が並ぶ物販ブースを設置。閑上小中学校と名取トレイルセンターでは施設見学、震災メモリアル公園では震災直後から活動した消防や陸上自衛隊が車両などを展示します。

また、これらの会場を回って謎を解き、閑上について学ぶスタンプラリーも行います。

当日は、JR名取駅と市役所、会場を結ぶ無料シャトルバスを午前8時30分から午後4時までの間、30分間隔で運行します。



閑上小中学校(昨年4月開校)



名取トレイルセンター(今年3月完成)



閑上公民館(今年5月完成)

支援に感謝伝える機会に

閑上の魅力も発信

閑上地区まちびらき実行委員会

針生 勉 会長



震災からこれまでの間、ボランティアなど多くの皆さんから、物心両面の支援を受けてきました。

「閑上地区まちびらき」は支援への感謝の思いを伝え、新たなまちとなった閑上のようなすを見てもらおう場としたいです。

あの震災で亡くなられた方々のためにも、良いまちを作っていくたい。出来上がったばかりのまちに魂を吹き込むのは、閑上に住んでいる私たち。未来永劫、閑上が発展していくよう努力を積み重ねていきたいです。

加えて、まちびらきは、市内外の方にも、閑上の魅力に触れてもらう機会としたいですね。交通アクセスが良い海辺のまちという環境は、大きな集客力を持っています。交流人口、定住人口の拡大につながる、期待を持っています。

来年の復興達成宣言に向け、まちびらきは最初のマイルストーン(節目)。「閑上はこんないいまちだ」「閑上で暮らして本当に良かった」という思いを住民一人ひとりが共有できるよう、ここに暮らす人たちが力を合わせ、明るい未来を信じ、一步を踏み出したいです。(談)